

事前評価個表

整理番号	17
------	----

地域（地区）名	ながさきなんぶ 長崎南部	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	長崎県	対象市町村	ながさきし 長崎市ほか8市町
事業実施期間	H28 ～ H32（5年間）	事業実施主体	長崎県、市町、森林組合等

事業の概要・目的	本地区は、長崎県西南部及び南東部に位置し、県庁所在地周辺の中心部は都市化が進んでいる。 本地区の森林面積は77千ha（森林率47%）、対象民有林は65千ha（森林全体の84%）、うち人工林は31千ha（人工林率48%）であり、林業生産額は26億円となっている。 また、本地区内の林道延長は490kmで、公道等を含むと林内道路密度は38.0m/haとなっている。 本地区は森林に恵まれており、41年生以上の利用可能な人工林が62%を占め、その多くが木材資源として本格的に利用が可能な段階を迎えており、県産材の利用拡大を通じた林業の再生を図っていくことが望まれるとともに、森林の有する多面的機能の発揮を図るため、必要な施業を適時・適切に行い、森林の健全性を保っていくことが求められている。 このため、長崎南部森林環境保全整備事業計画に基づく森林整備を実施し、間伐等の採算性の向上に向けた施業の集約化、路網整備と高性能林業機械との組合せによる低コスト作業システムの構築、森林所有者への収益還元率の向上等、最終的には持続的、安定的な林業経営体系を構築することを目標とする。 具体的には、本事業により、公益的機能を重視するため、計画に基づき森林の配置や齢級構成に応じ、森林の有する多面的機能の発揮の確保が可能となる間伐をはじめとした森林整備を実施する。 なお、自然環境等の状況等については、本地区は雲仙・多良山系などを擁しており、豊かな自然や動植物の生息に配慮した森林整備及び林業生産を行ってきており、特に自然保護等に関する問題は生じていないところである。 更には、森林の多くが農耕地や住宅地に近接していることから、農林業の振興、農林道の整備や土木、公園、観光関係において関係部局等との連携を図っている。
事業内容・事業費	森林整備：4,687ha 人工造林、樹下植栽、下刈り、枝打ち、保育間伐、間伐、更新伐等 総事業費：2,218,057千円
費用対効果分析結果	B/C = 2.80 (総便益(B) = 19,624,752千円、総費用(C) = 6,999,731千円)
評価結果	必要性：保育対象林分の状況、森林整備の緊急性などから見て必要性が高い。 効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 有効性：健全な森林づくり等によって水源涵養、国土保全等の機能の確保はもとより、将来の優良材の安定的生産にとって有効である。

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

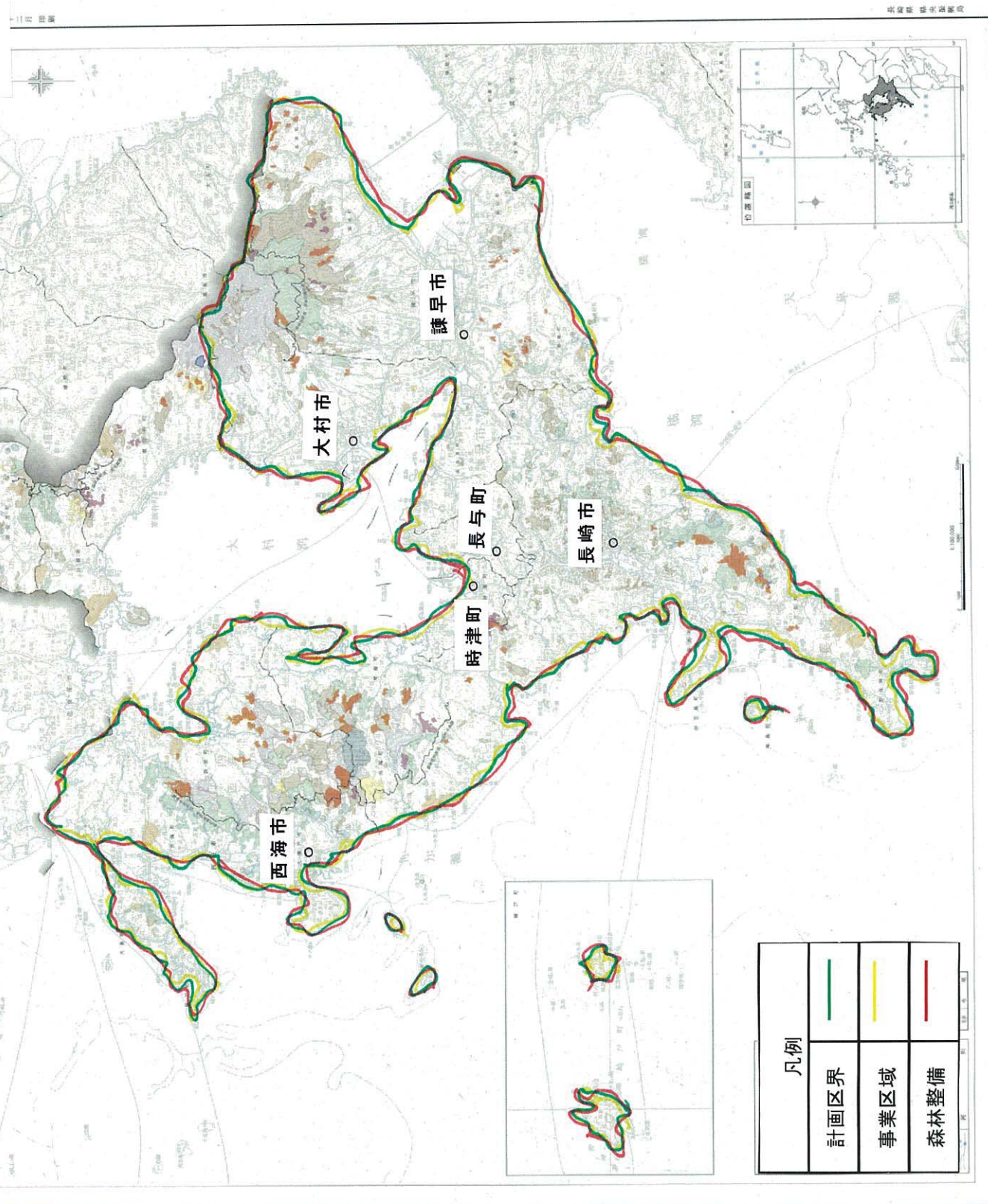
都道府県名: 長崎県

地域(地区)名: 長崎南部

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	4,469,871	
	流域貯水便益	1,522,866	
	水質浄化便益	4,423,545	
山地保全便益	土砂流出防止便益	4,398,929	
	土砂崩壊防止便益	53,643	
環境保全便益	炭素固定便益	4,755,898	
総 便 益 (B)		19,624,752	
総 費 用 (C)		6,999,731	
費用便益比	$B \div C = \frac{19,624,752}{6,999,731} = 2.80$		

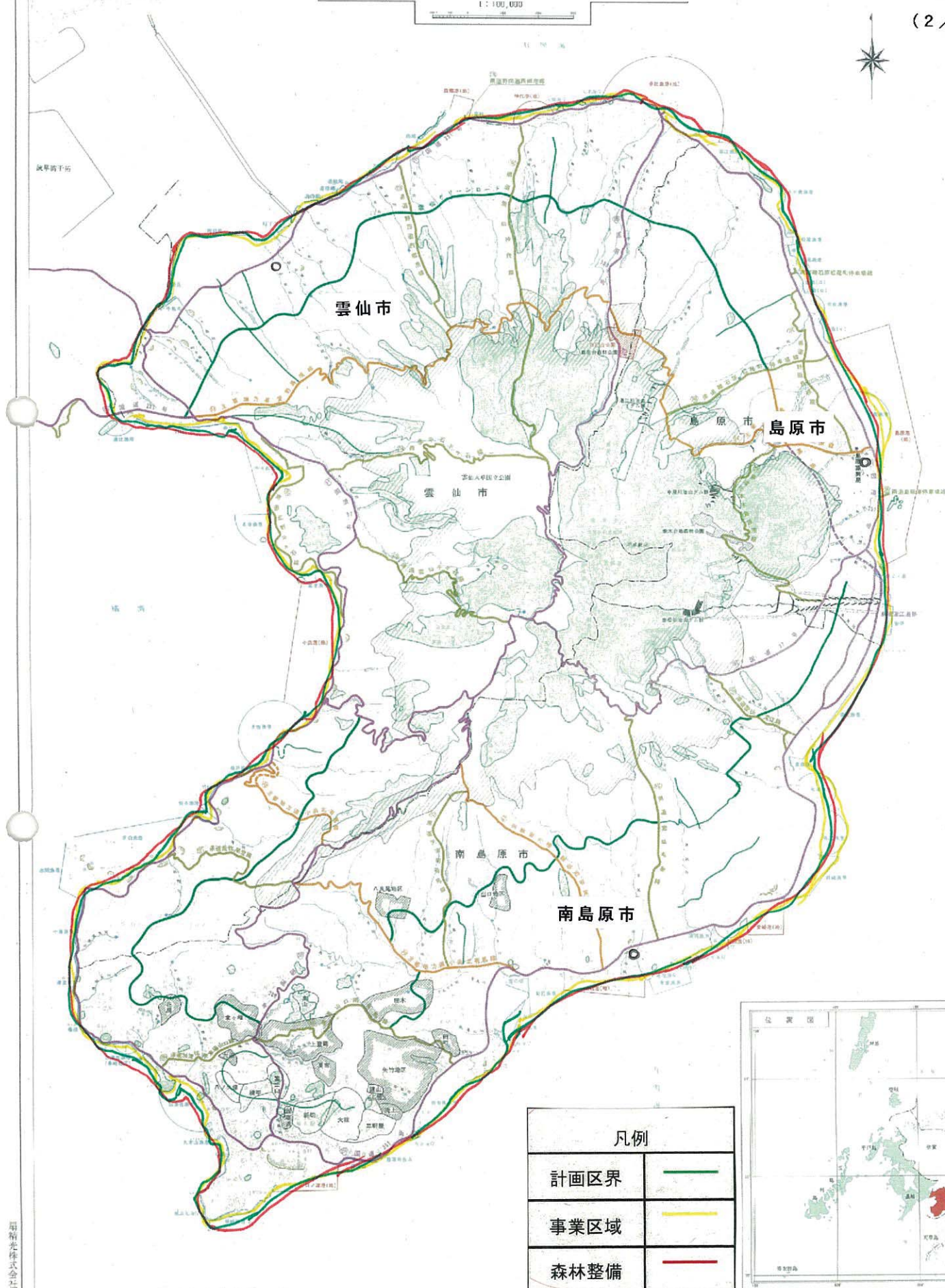
森林環境保全整備事業 長崎南部地域（長崎県） 概要図 (1/2)



森林環境保全整備事業 長崎南部地域（長崎県） 概要図

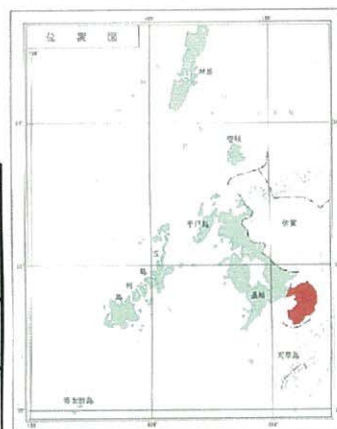
(2/2)

1:100,000



凡例

計画区界	—
事業区域	—
森林整備	—



事前評価個表

整理番号	18
------	----

地域（地区）名	あまくさ 天草	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	熊本県	対象市町村	かみあまくさし 上天草市ほか2市町
事業実施期間	H28 ～ H32（5年間）	事業実施主体	熊本県、市町、森林組合等

事業の概要・目的	本地区は、熊本県の西部に位置し、四方を海に囲まれ、北は有明海、西は東シナ海、南から東は不知火海に面している。 本地区の総面積88千haのうち、森林面積は58千ha（森林率66%）、対象民有林は57千ha（森林全体の98%）、うち人工林は23千ha（人工林率40%）と、他の地区と比べて人工林率が低くなっている。 しかしながら、民有人工林の構成割合は、適正な保育・間伐を必要とするⅢ～ⅣⅡ齢級が85%を占め、特に、本地区は県内他地域と比べ若齢林の割合が高くなっていることから、早急に間伐等を行い、水源涵養や山地災害防止機能等の公益的機能の発揮とともに効率的な木材の有効利用を推進するため森林整備を推進する必要がある。 このため天草地域では、天草地域森林計画及び天草地域森林環境保全整備事業計画を策定し、これら計画に基づき森林の配置や齢級構成に応じた森林整備を行うことによって、林業従事者の安定した事業量の確保や後継者の育成に寄与するとともに、豊富な森林資源を活用しつつ公益的機能の高度発揮を図ることとしている。 具体的には、本事業により、森林の有する多面的機能の発揮の確保が可能となる除伐・間伐をはじめとした森林整備を実施する。 更には、農耕地の多くが森林に近接していることから、関係部局との連携を図り、農林業の振興を図っていく。
事業内容・事業費	森林整備：5,250ha 人工造林、下刈り、除伐、枝打ち、間伐、更新伐等 総事業費：2,002,524千円
費用対効果分析結果	B/C = 5.42 (総便益(B)=11,825,551千円、総費用(C)=2,181,394千円)
評価結果	必要性：保育対象林分の賦存状況、森林整備の緊急性等から見て必要性が高い。 効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 有効性：健全な森林づくり等によって、水源涵養・国土保全等の機能の確保はもとより、将来の資源の循環利用にとって有効である。

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

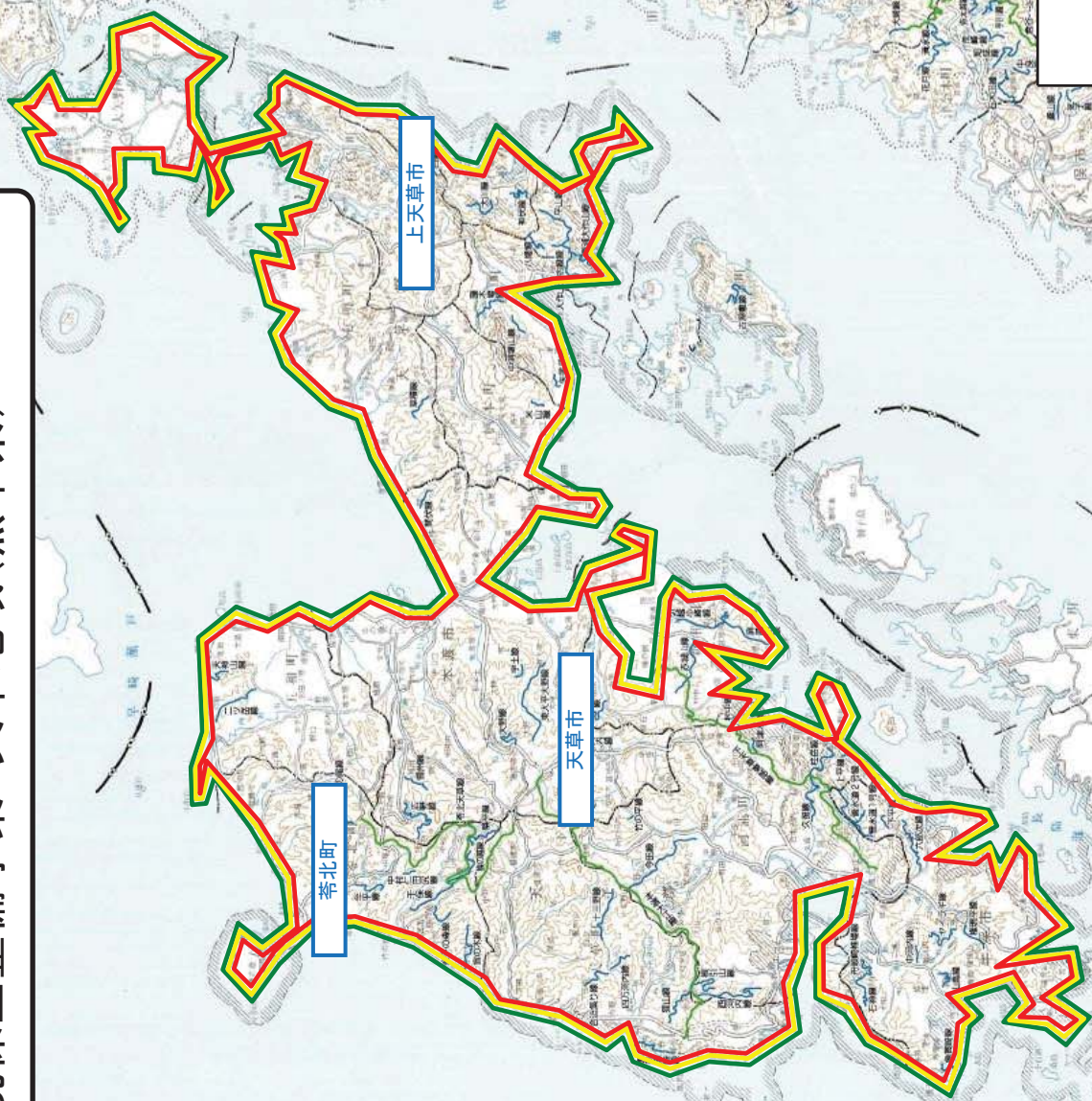
都道府県名: 熊本県

地域(地区)名: 天草^{あまくさ}

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	4,307,900	
	流域貯水便益	1,220,636	
	水質浄化便益	2,685,269	
山地保全便益	土砂流出防止便益	3,511,284	
	土砂崩壊防止便益	100,462	
総 便 益 (B)		11,825,551	
総 費 用 (C)		2,181,394	
費用便益比	$B \div C = \frac{11,825,551}{2,181,394} = 5.42$		

森林環境保全整備事業 天草地域(熊本県)



凡	例
計画区界	
事業区域 (森林環境保全直接支援事業 環境林整備事業)	
整備箇所	

熊本県全図



事前評価個表

整理番号	19
------	----

地域（地区）名	耳川 ^{みみかわ}	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	宮崎県	対象市町村	日向市ほか4町村 ^{ひゅうがし}
事業実施期間	H28 ～ H32（5年間）	事業実施主体	市町村、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	本地区は、宮崎県日向市及び東臼杵郡に位置している。 本地区の森林面積は144千ha（森林率88%）、対象民有林は131千ha（森林全体の92%）、うちスギを主体とする人工林は77千ha（人工林率59%）となっている。年齢別にはⅩ年齢をピークにⅦ～ⅩⅠ年齢が63%を占め、特に標準伐期年齢以上のスギ人工林が72%を占めるなど本格的な収穫期を迎えている。 また、本地区の中央を貫流する耳川本流には大小7つの水力発電用ダムがあり、県民の生活に欠かせない水資源の源流部となっており、さらに木材産業に対する依存度が極めて高いことから、林業・木材産業の振興を図ることが地域の重要な課題となっている。 一方、木材価格の長期低迷や高齢化等による林業労働力の減少を背景に、間伐等の保育管理が不十分な人工林が見受けられるようになり、このまま推移すると、森林の有する公益的機能の発揮に支障をきたすことが懸念される。 このため、本地区においては、水源涵養機能や木材生産機能をはじめとした、森林の有する多面的機能を総合的かつ高度に発揮させるため、耳川地域森林環境保全整備計画に基づく森林整備を実施する。 具体的には、耳川地域森林計画及び各市町村の森林整備計画に即して、本事業により植栽等の更新作業、間伐等の保育作業、効率的な森林整備を推進するための路網整備をはじめ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を実施する。 本計画に基づく適正な森林整備を行うことにより、地球温暖化防止対策や国土保全、水源涵養機能等、森林の有する多面的機能の発揮が可能となる。また、本計画において、伐採と造林の一貫作業システムの普及を促進し、森林施業の低コスト化を図るとともに、「伐って、使って、すぐ植える」資源循環型林業の構築を目指す。
事業内容・事業費	森林整備：24,992ha 人工造林、下刈り、除伐、間伐等 路網整備：12,741m 林業専用道 総事業費：12,767,844千円
費用対効果分析結果	B/C = 6.07 （総便益(B) = 177,330,857千円、総費用(C) = 29,230,580千円）
評価結果	必要性：水源涵養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。 効率性：費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。また、森林施業についてコスト削減の取組を実施することとしている。 有効性：耳川地域森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する多面的機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

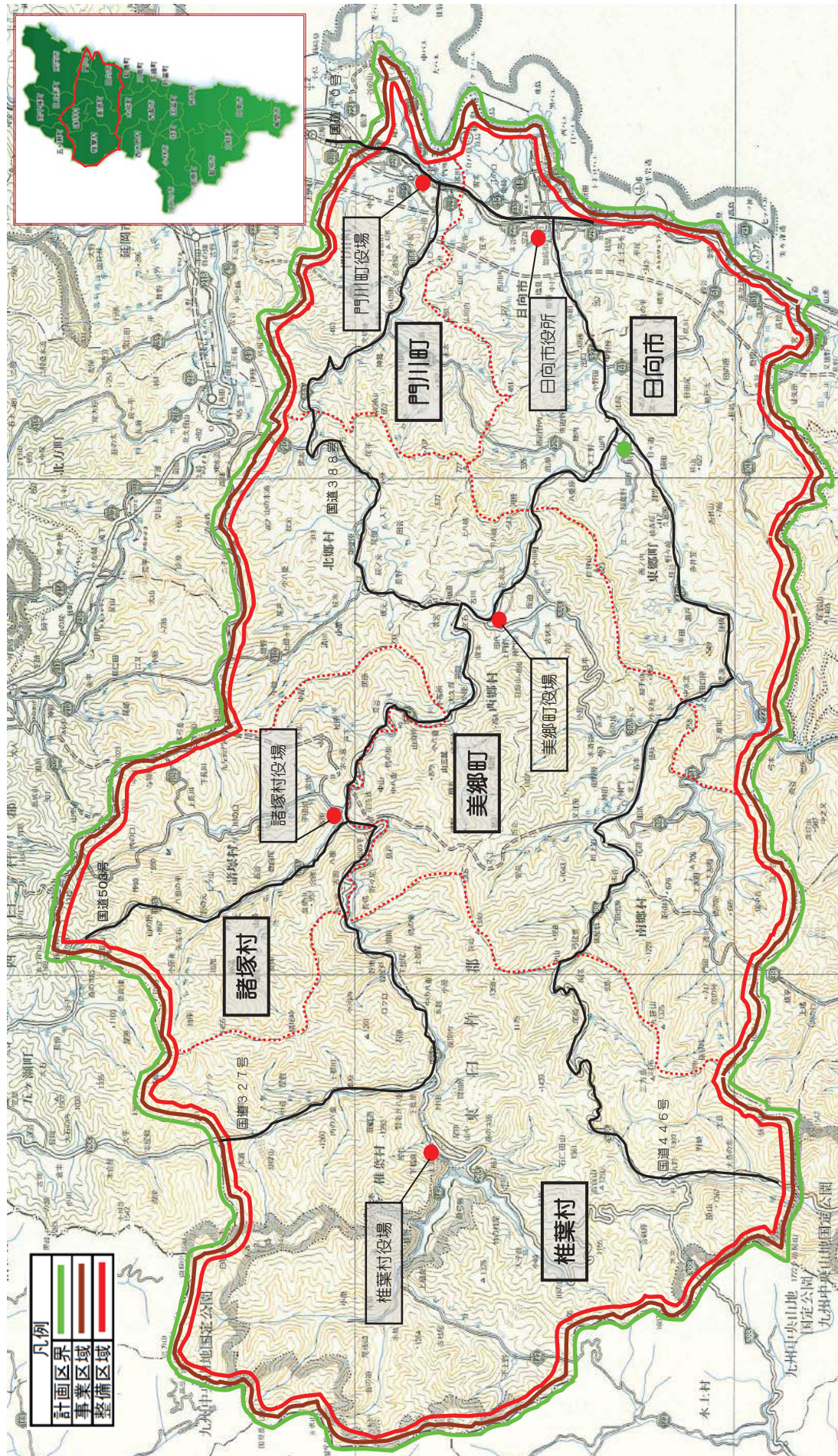
都道府県名: 宮崎県

地域(地区)名: 耳川^{みみかわ}

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	41,199,102	
	流域貯水便益	18,763,969	
	水質浄化便益	41,171,059	
山地保全便益	土砂流出防止便益	43,831,420	
	土砂崩壊防止便益	30,804	
環境保全便益	炭素固定便益	10,647,672	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	3,629	
	木材利用増進便益	5,217	
	木材生産確保・増進便益	20,059,757	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	29,563	
	森林管理等経費縮減便益	88,828	
	森林整備促進便益	1,499,837	
総 便 益 (B)		177,330,857	
総 費 用 (C)		29,230,580	
費用便益比	$B \div C = \frac{177,330,857}{29,230,580} = 6.07$		

森林環境保全整備計画 耳川流域（宮崎県） 概要図



事前評価個表

整理番号	21
------	----

地域（地区）名	くまげ 熊毛	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	鹿児島県	対象市町村	にしのおもてし 西之表市ほか3町
事業実施期間	H28 ～ H32（5年間）	事業実施主体	県、市町、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	本地区は、鹿児島県本土の南の洋上に位置する屋久島・種子島を主とする島しょ部からなっている。 本地区の森林面積は73千ha（森林率73%）、対象民有林は31千ha（森林全体の43%）、うちスギを主体とする人工林は10千ha（人工林率33%）となっている。 特に本地区の森林は、水資源の確保が困難な島しょにおける下流域への水の供給源として重要な役割を担っているが、近年、木材価格の低迷による林業採算性の低下や森林所有者の経営意欲の減退、林業従事者の高齢化等に伴い、保育・間伐等の手入れが遅れた森林が増加するなど、森林の持つ水源涵養等の公益的機能の発揮への支障が懸念されるところである。 このことから、今後、伐期齢を迎え森林資源が充実してくることもあり、森林の多面的機能の発揮を継続していくためにも、適切な森林整備が重要となっている。 具体的には、森林経営計画等に基づき、本事業による幼齢林の適時適切な保育施業を進めるとともに、集約化や森林作業道の整備等、間伐等をより効率的・効果的に行うために必要な基盤整備とあわせて森林整備を積極的に実施する。 また、本地区では各市町毎に総合振興計画及び熊毛地域森林環境保全整備事業計画を策定しており、豊富な森林資源を活用しつつ地域振興を目指しているところである。
事業内容・事業費	森林整備：3,510ha 人工造林、下刈り、枝打ち、除伐、保育間伐、間伐等 総事業費：1,362,957千円
費用対効果分析結果	B/C = 6.30 （総便益(B)=17,355,561千円、総費用(C)=2,754,933千円）
評価結果	必要性：水源涵養等の公益的機能の発揮が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。 効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 有効性：熊毛地域森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する多面的機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

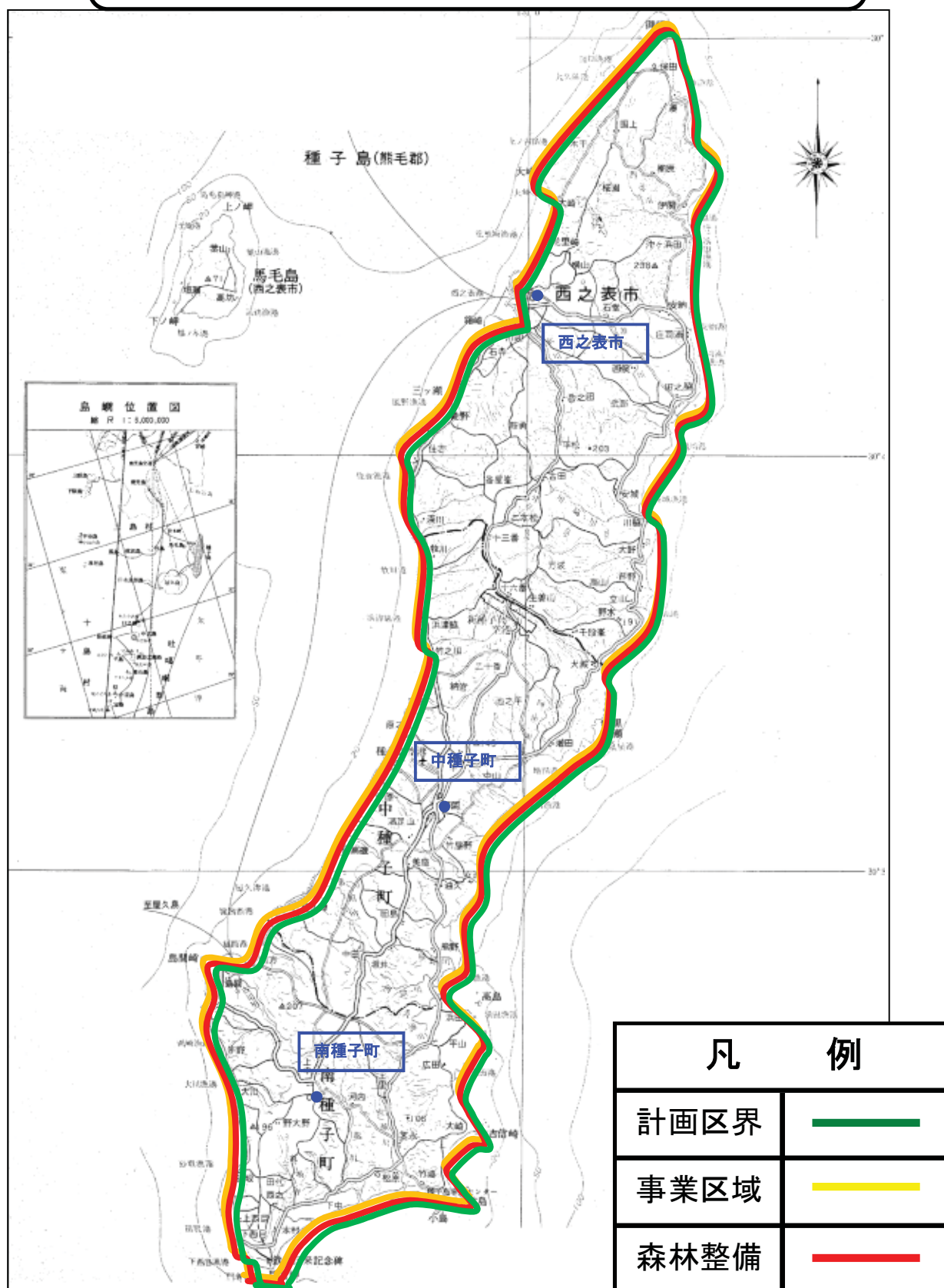
都道府県名: 鹿児島県

地域(地区)名: 熊毛^{くまげ}

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	5,729,938	
	流域貯水便益	2,369,885	
	水質浄化便益	5,201,321	
山地保全便益	土砂崩壊防止便益	9,037	
環境保全便益	炭素固定便益	1,643,008	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	2,402,372	
総 便 益 (B)		17,355,561	
総 費 用 (C)		2,754,933	
費用便益比	$B \div C = \frac{17,355,561}{2,754,933} = 6.30$		

森林環境保全整備事業 熊毛地域(種子島) (鹿児島県)概要図



口永良部島

熊毛地域(屋久島)森林環境保全整備事業

屋久島

凡例

- 計画区界
- 事業区域
- 森林整備

凡 例	
計畫區界	
事業區域	
森林整備	